

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 3 月 10 日 (月) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	雨	NE	1 ~ 3	上げ潮	



濁り(SS)監視基準

- クビレミドロ監視地点 st.1~4 7mg/L

 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - st.5~7 11mg/L
 - 工事の濁り監視地点 st.8~18, 21~25 11mg/L

 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19、20、Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	内容
I中仕切工事	・土のう設置
D護岸工事	・裏埋材均し
C護岸工事	・汚濁防止膜撤去
浚渫工事	・汚濁防止膜撤去
仮設道路工事	・根固用袋材設置

数値基準を超過した調査区域の状況

降雨の影響により流入部及びSt.18の値が高くなっており、白濁がみられた。

評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は、St.18は周辺を干出域で囲まれた干潟の中の深みに位置していることから、降雨や低潮位時における底質の巻き上げが原因で、濁りが深掘部に滞留しやすい状況となっており、海水交換がされにくいことが影響していると考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20年 3月 12日 (水) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	NE ~ E	3 ~ 4	下げ潮	



濁り(SS)監視基準

- クビレミドロ監視地点 st.1~4 7mg/L

 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点 st.5~7 11mg/L

 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19、20、Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	内容
イ中仕切工事	・土のう設置
D護岸工事	・裏埋材均し・石材投入・均し
C護岸工事	・汚濁防止膜撤去
浚渫工事	・汚濁防止膜撤去
仮設道路工事	・根固用袋材設置

数値基準を超過した調査区域の状況

St.18の値が高くなっており、白濁がみられた。

評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は、St.18は周辺を干出域で囲まれた干潟の中の深みに位置していることから、降雨や低潮位時における底質の巻き上げが原因で、濁りが深掘部に滞留しやすい状況となっており、海水交換がされにくいことが影響していると考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20年 3月 15日 (土) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴～曇	NE	2～4	下げ潮	



濁り(SS)監視基準

- クビレミドロ監視地点
 - st.1～4 7mg/L
 - st.5～7 11mg/L
 - 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点
 - st.8～18, 21～25 11mg/L
 - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19、20、Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	内容
I中仕切工事	・土のう設置
D護岸工事	・根固用袋材設置
C護岸工事	・作業はなし
浚渫工事	・汚濁防止膜撤去、細粒分処理
仮設道路工事	・根固用袋材設置

数値基準を超過した調査区域の状況

St.18の値が高くなっており、白濁がみられた。

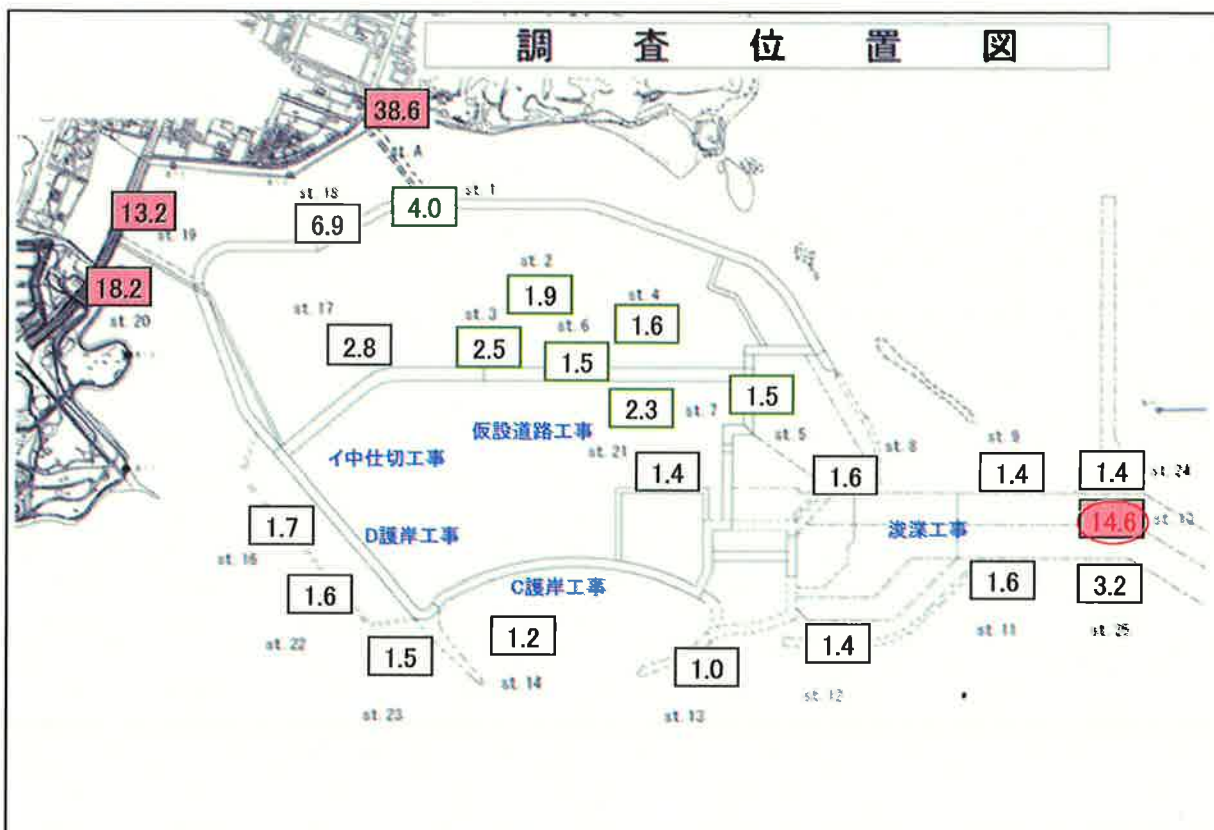
評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は、St.18は周辺を干出域で囲まれた干潟の中の深みに位置していることから、降雨や低潮位時における底質の巻き上げが原因で、濁りが深掘部に滞留しやすい状況となっており、海水交換がされにくいことが影響していると考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20年 3月 19日 (水) 10:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	曇	NNE ~ NW	1 ~ 4	下げ潮	



濁り(SS)監視基準

- クビレミドロ監視地点 st.1~4 7mg/L

 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点 st.5~7 11mg/L
 - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19、20、Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	・作業はなし
	D護岸工事	・作業はなし
	C護岸工事	・作業はなし
	浚渫工事	・土のう撤去
	仮設道路工事	・作業はなし

数値基準を超過した調査区域の状況
St.10付近において白濁がみられた。

評価
St.10付近の工事状況は、午前10時頃まで土のう撤去を行っていた。 基準値を超過した要因は、小型土のうを撤去する際に大型土のうに積み替え撤去を行っていたが、引き上げ時に底部を引きずり、底質を巻き上げた為濁りが発生したと考えられる。 対策として、大型土のうの近くまで作業台船を移動させ、大型土のうを吊り上げるように作業を行った。